

明治～昭和期の日本の 雑誌・新聞記事の探し方

2021.7 大阪大学総合図書館 学習・調査支援担当

記載している情報はいずれも2021年6月時点で確認した情報です。

皆さんこんにちは。

E-learning教材「明治～昭和期の日本の雑誌・新聞記事の探し方」を始めます。
一般誌・大衆誌・新聞等の実際の記事を確認して、当時の文化や社会を研究
する方に有効な内容です。

大学院生・研究者の方にも、卒論を準備する3・4年生の方にも、幅広く参考
になる内容です。

本教材のフォーカス

発行時期

明治・大正・昭和期

対象とする資料

日本の一般誌・大衆誌の記事

学術雑誌論文は対象外！

日本の新聞の記事

これらの資料について、**記事情報を探す方法と、
実際に入手する方法**をご紹介します。

明治～昭和期の日本の雑誌・新聞記事の探し方

はじめに、本教材で扱う内容をお示しします。

対象としては、明治から昭和期に日本で発行された、一般誌・大衆誌および新聞の記事です。

記事の中には、雑誌や新聞上で連載・投稿された文芸作品なども含みます。これらの記事情報を探す方法と実際に入手する方法の要点をご紹介します。

本講習会の構成

1. 雑誌記事情報の探し方
2. 新聞記事情報の探し方
3. 実際に記事を手に入る

明治～昭和期の日本の雑誌・新聞記事の探し方

本教材の構成としては、このような形です。

まず、必要な記事の情報を探す方法を、雑誌記事、新聞記事の順に紹介します。

そして得られた記事情報をもとに、実際に記事自体を手に入る方法を最後に紹介します。

1.雑誌記事情報の探し方

それでは、雑誌記事情報の探し方を詳しくお話していきます。

探索ツールの概要

網羅的なデータベースは無い

条件に該当する記事を探している（=特定の記事で無い）場合は、複数の探索ツールを併用し、他にも該当記事が無いかを確認してみる必要がある。

書誌索引や参考図書等の紙の資料にしか無い情報も多い

明治～昭和期の日本の雑誌・新聞記事は、
データベースやWeb上では検索できないが、紙の資料に情報がある
というケースがまだまだ多い。
主要な書誌索引・参考図書を頭に入れておくと探索の幅が広がる。

明治～昭和期の日本の雑誌・新聞記事の探し方

まず、雑誌記事情報の探索ツールの概要です。

残念ながら、このデータベースさえ検索すれば全ての記事情報を探することができる、というデータベースは存在していません。
ある検索条件に該当する記事をできるだけ多く探したいという場合、1つのデータベースで検索を終えず、複数のデータベースや、書誌索引・参考図書といった紙の調査ツールを併せて使用する必要があります。

明治～昭和期の日本の雑誌記事に関しては、紙の書誌索引や参考図書でしか探せない情報もまだまだ存在しています。こういった紙の資料を頭に入れておくと探索の幅が広がります。

データベース活用のポイント

どのような雑誌のどのような年代が収録されているかを知る

データベースのヘルプページや、提供元Webサイトで、**収録内容を確認**する

収録内容が明記されていない場合は、**内容を探ってみる**

雑誌名を指定して検索：自分がよく活用するいくつかの雑誌名で検索してみる

記事の出版年を指定して検索：自分が着目している年代の収録記事量を探る

どのような検索機能があるか知る

「詳細検索」機能など高度な検索機能を確認

AND検索やOR検索など、キーワードの掛け合わせができるか

明治～昭和期の日本の雑誌・新聞記事の探し方

具体的なデータベースを紹介する前に、すべての文献データベースに共通する、データベース活用のポイントをおさえておきます。

まず、データベースを有効に活用するには、収録内容を知っておくことが大切です。

データベースのヘルプページや提供元Webサイトで収録内容を確認できます。ただ、詳細な収録内容は明記されていないことが多いので、自分で内容を探ってみるとよいでしょう。

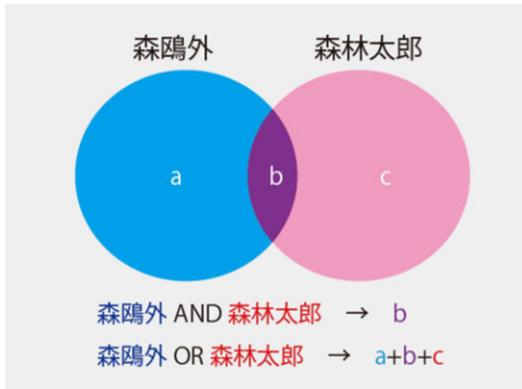
例えば、研究対象の雑誌名で検索し、収録があるか、ある場合どの年代の収録があるか、を確認するというような形です。

また、多くのデータベースには詳細検索など、高度な検索機能が備わっています。

AND検索やOR検索といった、キーワードの掛け合わせも可能な場合があります。

文献データベース検索では、何が検索出来ているのか、こういった検索方法が可能なのか、といったことを把握してから活用することが大切です。

データベース活用のポイント



OR検索の有効な活用場面

ペンネームや本名など、ある人物の書いたもしくはある人物についての記事を漏れなく検索したい

ex. 「森鷗外」と「森林太郎」

組織や事項の名称のさまざまな呼び方や、名称の変遷を含めて検索したい

ex. 「大阪大学」と「大阪帝国大学」

明治～昭和期の日本の雑誌・新聞記事の探し方

キーワードの掛け合わせ方法である、AND検索とOR検索について、もう少し説明します。

AND検索は、2つのキーワードを両方含むもの、という検索方法です。こちらはイメージしやすいですね。

一方のOR検索は、2つのキーワードのどちらかを含むもの、という検索方法です。

有効な場面としては、本名に加えてペンネームもあるような人物の著作を漏れなく検索したい、といったケースがあります。

このほか、ある事項に対して複数の名称や記載方法があるものを漏れなく検索したい、という場合にも有効です。

とくに本教材で扱うようなテーマでは、ちょっとした記事であっても、できるだけ漏れなく探したいということが多いと思います。

文献データベースでキーワード検索する際は、OR検索のキーワードの候補を事前にきちんと検討したうえで、活用すると良いでしょう。

①CiNii Articles について

雑誌論文を探すことに主眼をおいたデータベース

学術雑誌論文に焦点を当てて、さまざまな情報源からデータを集めている
→明治～昭和期の日本の一般誌・大衆誌などの雑誌記事を探す、という目的からすると有用ではない。

ある事柄・人物についての研究論文 / ある人物の執筆した研究論文
→CiNii Articlesなどの論文データベース

ある事柄・人物についての一般雑誌記事、ある人物の執筆した一般雑誌記事
→このあと紹介する雑誌記事データベースや書誌索引など

という形で、検索ツールを使い分ける必要があります。



明治～昭和期の日本の雑誌・新聞記事の探し方

ここで、CiNii Articlesについて簡単に触れておきます。日本語論文を検索する際に、利用されている方が多いデータベースかと思えます。

CiNii Articlesは、学術雑誌論文を検索することに主眼を置いて記事情報を収録しています。

そのため、一般誌・大衆誌の記事情報の収録は少なく、本教材の対象とするような資料の検索には有用ではありません。

学術雑誌論文を検索したい場合は、CiNii Articlesなどの論文データベースを活用し、

一般雑誌記事を検索したい場合は、このあと紹介する雑誌記事データベースや紙の資料を活用する、というように検索ツールを使い分ける必要があります。

①雑誌記事索引集成データベース (ざっさくプラス)

大阪大学で契約している有料データベース

主な収録内容

過去に出版された目録・総目次等から独自に索引した目次データ

国立国会図書館デジタルコレクションのうち、戦前の雑誌の目次データ。さらにざっさくプラス独自に目次を拡充。

全国誌だけでなく地方誌も。戦前植民地期の朝鮮語雑誌も収録。



約2,730万件の
記事情報
(2021年6月現在)

明治～昭和期の日本の雑誌・新聞記事の探し方

ここから、具体的なデータベースについて詳しく紹介していきます。
1つ目に紹介するデータベースが、雑誌記事索引集成データベース「ざっさくプラス」です。
明治～昭和期の日本の一般誌・大衆誌記事情報を収録したデータベースとしては、一番収録量が多いので、まずここから検索すると良いでしょう。

ざっさくプラスは大阪大学で契約している有料のデータベースで、大阪大学ご所属の皆様は利用可能です。
過去に紙で出版された目録・総目次等から独自に索引した目次データを中心に、後ほど紹介する国立国会図書館デジタルコレクションの目次データなど、幅広く情報を収録しています。現在も継続して、収録情報を増やしてくれています。

①雑誌記事索引集成データベース (ざっさくプラス)

アクセス方法

【大阪大学のキャンパス内から】

図書館Webサイトの「データベース」タブ内「すべてのタイトルを表示」から、雑誌記事索引集成データベースを選択して、アクセス。

【大阪大学のキャンパス外から】

図書館Webサイトの「キャンパス外から電子リソースを使う」から、雑誌記事索引集成データベースを選択してアクセス。



明治～昭和期の日本の雑誌・新聞記事の探し方

ざっさくプラスへのアクセス方法を紹介します。

大阪大学のキャンパス内からアクセスする際には、

1. 附属図書館Webサイトトップページの「クイックサーチ」で「データベース」タブに切り替える
2. 「すべてのタイトルを表示」をクリック
3. 「雑誌記事索引集成データベース」を選択
という手順です。

大阪大学のキャンパス外からアクセスする際には、

1. 附属図書館Webサイトトップページの「キャンパス外から電子リソースを使う」のアイコンをクリック
2. 「データベースへのアクセス」の中から、該当のデータベースをクリック
3. 大阪大学個人IDとパスワードでのログインを行う
という手順です。

①雑誌記事索引集成データベース (ざっさくプラス)

簡易検索

詳細検索

図版検索

森鷗外

表示件数 20件 50件 100件

Ciniiと連携する

全データのうち「論題名」と「執筆者名」をAND検索します。「論題名」「執筆者名」「雑誌名」など、検索項目を指定して検索する場合は「詳細検索」を使います。

検索

簡易検索モードでのキーワード検索対象は、「論題名」と「著者名」が対象になります。

森鷗外氏の新體詩談

無記名

明治39年,太陽,第12卷5號

陣中俳句(網目版)

森鷗外

明治39年10月,光風,第2年第4号(第8号)

明治～昭和期の日本の雑誌・新聞記事の探し方

【動画教材では、ざっさくプラスでの操作を実演しながら解説しています。】

こちらがざっさくプラスの最初の画面です。

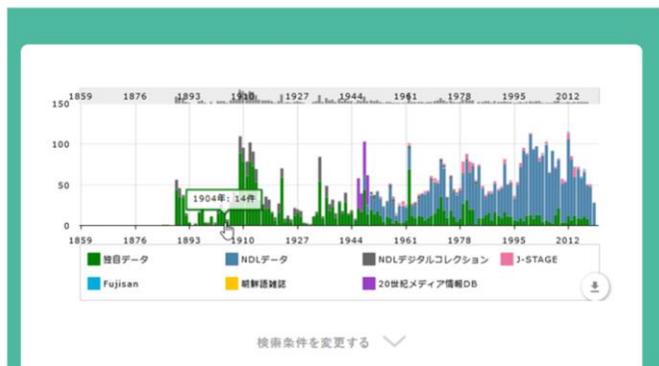
画面上部にて、「簡易検索」「詳細検索」「図版検索」の3つのモードの切り替えが可能です。

ここでは「簡易検索」モードについて解説していきます。

「簡易検索」モードのキーワード検索対象は「論題名」と「著者名」です。今回は「森鷗外」というキーワードで検索を行います。

①雑誌記事索引集成データベース (ざっさくプラス)

「森鷗外」の検索結果一覧



検索結果一覧上部のグラフ

ざっさくプラス内の出版年ごとの収録記事数が一目で分かる

該当年のところをクリックすると、検索結果一覧のうち、その年代のところまで飛ぶことができる

明治～昭和期の日本の雑誌・新聞記事の探し方

【動画教材では、ざっさくプラスでの操作を実演しながら解説しています。】

検索を行うと、このようなグラフが表示され、グラフの下に出版年の古い順に記事情報が並んでいます。

このグラフは、ざっさくプラス内の出版年ごとの収録記事数を表示したものです。

グラフ中のある年をクリックすると、検索結果一覧のうち、その年代のところまで飛ぶことができ便利です。

例えば、1904年の記事情報を見えます。

①雑誌記事索引集成データベース (ざっさくプラス)

[日蓮聖人辻説法](#)

279

森鷗外作



明治37年3月31日,歌舞伎(歌舞伎発行所),47(臨時刊行 日蓮聖人辻説法鷗外森博士新作歌舞伎座興行)

[日蓮聖人辻説法](#)

280

森鷗外



明治37年,歌舞伎,3月31日号

[日蓮聖人辻説法](#)

森鷗外

1904-03,歌舞伎,(47)

さまざまな情報源からデータを採録しているため、
同じ記事の情報が重複して存在している場合がある。
⇒「論題名」をクリックした先の情報なども踏まえて、
同じ記事かどうか見極める。

明治～昭和期の日本の雑誌・新聞記事の探し方

【動画教材では、ざっさくプラスでの操作を実演しながら解説しています。】

ざっさくプラスの検索結果を見ていく際の留意点として、重複データの存在があります。

さまざまな情報源から記事情報を収録していて、それらの情報が統合されずに重複して表示されているためです。

例えば、この「日蓮聖人辻説法」は、明治37年すなわち1904年発行の雑誌『歌舞伎』の3月発行号に掲載されているものですが、重複データと思われるものが3つヒットしてきます。

論題名をクリックした先の詳細情報も踏まえて、同じ記事情報かどうか見極める必要があります。

①雑誌記事索引集成データベース (ざっさくプラス)

簡易検索 詳細検索 図版検索

森鷗外 OR 森林太郎

表示件数 20件 50件 100件

<語>>賞福論揮毫(早稲田大学科外講義)

医学博士 森林太郎

明治37年9月1日,早稲田学報,101

278

日蓮聖人社説法

森鷗外作

明治37年3月31日,歌舞伎(歌舞伎発行所),47(臨時刊行 日蓮聖人社説法鷗外森博士新作歌舞伎座発行)

279

AND検索 → 検索窓に「キーワード△キーワード」と入れる
OR検索 → 検索窓に「キーワード△OR△キーワード」と入れる
※ △は半角スペース

ペンネームや外国の地名・人名表記などを含めた同義語検索機能が一部あるが、何が同義語の対象になっているかは公開されていない。

⇒正確な検索をしたいときは、きちんとOR検索するほうがおすすめ。

明治～昭和期の日本の雑誌・新聞記事の探し方

【動画教材では、ざっさくプラスでの操作を実演しながら解説しています。】

次にAND検索とOR検索について紹介しましょう。

AND検索は、二つのキーワードの間に半角スペースを入れるだけです。

OR検索は、二つのキーワードの間に、半角スペース、大文字のOR、半角スペース、という形で入力します。

ここでは、森鷗外と、本名の森林太郎をOR検索してみます。

こうすることで、森鷗外名義のものと、森林太郎名義のもの、どちらも同時に検索することができます。

実際のところ、ざっさくプラスには、簡易的な同義語検索機能があり、「森鷗外」で検索した際には、「森林太郎」も自動で検索できるようになっています。ただし、「森林太郎」で検索した際には、「森鷗外」は検索されないという、一方通行の仕様になっています。

何がどのように同義語検索できているのかという情報は公開されていないため、正確な検索を行いたいときは、自分でキーワードを検討してOR検索するほうがおすすめです。

①雑誌記事索引集成データベース (ざっさくプラス)

詳細検索モード

雑誌名を指定した検索が可能。

ただし、簡易検索モードのような、論題名+著者名の検索窓が無いので、漏れなく検索したいときには少し不便。(次スライド参照)

図版検索モード

「図版や写真がついていそう」な記事を検索できるモード

ざっさくプラス側で、実際に図版や写真がついているか確認しているわけではないので、注意。

※論題等に「図版」「写真」などのキーワードが入っているものを機械的に抽出しているだけ。

明治～昭和期の日本の雑誌・新聞記事の探し方

【動画教材では、ざっさくプラスでの操作を実演しながら解説していません。】

「簡易検索」以外のモードも少し説明しておきます。
画面左上のロゴをクリックすると、最初の画面へ戻ることができます。

「詳細検索」モードでは、雑誌名を指定した検索など、項目を指定した検索が可能です。

「図版検索」モードでは、図版や写真が付いていると推定される記事を検索できます。ざっさくプラス側で、実際に図版や写真が掲載されているかどうかを確認しているわけではないという点には留意が必要です。

①雑誌記事索引集成データベース (ざっさくプラス)

簡易検索 詳細検索 図版検索

論題名 検索キーワードを入力してください

著者名 検索キーワードを入力してください

雑誌名 検索キーワードを入力してください

刊行年 指定なし 年～ 指定なし 年

巻号 検索キーワードを入力してください

詳細情報

論題	夏目漱石氏文学談
著者	一記者
掲載誌	早稲田文学(第二次)
巻号	第8号
刊行年月日	1906年8月1日
掲載頁	118
書誌所蔵情報	CINii Booksで検索
出典	早稲田文学(第2次)1(1906年1月1日)～157(1918年1月1日)

インタビュー記事や座談会記事などでは、論題欄に著者・発言者が入っていたりすることもある。
→詳細検索モードよりも、簡易検索モードで検索する方が漏れがない。

明治～昭和期の日本の雑誌・新聞記事の探し方

詳細検索モードでの「著者名」検索について少し補足です。

一般誌・大衆誌に多い、インタビュー記事や座談会記事などの場合、ざっさくプラスでは論題欄に人物名が記述されていることも多いです。著者名検索をしたいシチュエーションとしては、その人が書いたこと・話したことをできるだけ拾いたい、という時かと思います。簡易検索モードであれば「論題名」と「著者名」を同時に検索できるので、簡易検索モードのほうが漏れの無い検索が可能であるといえます。

②国立国会図書館デジタルコレクション

主な収録内容 <https://dl.ndl.go.jp/ja/intro.html#idx4-1>

国立国会図書館所蔵の図書

→1968年までに受け入れた約97万冊（うち目次データは約77万冊）

国立国会図書館所蔵の雑誌

→2000年までに発行された約134万冊（1号=1冊、ほぼすべてに目次データあり）

明治～昭和期の日本の雑誌・新聞記事の探し方

2つ目に紹介するデータベースが、国立国会図書館デジタルコレクションです。

名称のとおり、国立国会図書館所蔵の図書と雑誌をデジタル化して、画像閲覧や記事・目次検索をできるようにしたものです。

図書については主に1968年までに受け入れたもの、雑誌については主に2000年までに発行されたものが収録内容となっています。

②国立国会図書館デジタルコレクション

画像は3段階の公開レベルがある

インターネット公開 いつでもどこでも閲覧・ダウンロードできる

図書館送信限定 図書館内の専用PCでのみ閲覧できる

平日9:00～17:00（総合図書館相互利用カウンタ / 外国学図書館3Fレファレンスカウンタにて）

印刷は職員が行います（25円/私費 10円/公費）

国立国会図書館内限定

国立国会図書館に直接行く もしくは 複写を取寄（取寄不可の資料が一部あり）

	インターネット公開	図書館送信限定	国立国会図書館内限定
図書	約36万冊	約55万冊	約7万冊
雑誌	約1万冊	約81万冊	約51万冊

※令和3年3月現在。現在もデジタル化作業を行っており、件数は増加中。

明治～昭和期の日本の雑誌・新聞記事の探し方

著作権の保護状態によって、デジタル化資料の公開レベルは3段階に設定されています。

一番ゆるやかなレベルが「インターネット公開」で、これは無料でいつでも利用できるものです。

次のレベルが、「図書館送信限定」です。これは、国立国会図書館と特別な提携をしている図書館内の専用PCからのみ利用できるものです。

大阪大学では、総合図書館と外国学図書館が提携しており、図書館内の専用PCで閲覧できます。閲覧は無料で、印刷の場合は、印刷代がかかります。

一番厳しいレベルが、「国立国会図書館内限定」です。このレベルのものは、直接国立国会図書館に行くか、複写を取り寄せることになります。

各公開レベルに該当する冊数はこの表のとおりです。

雑誌に関しては、インターネット公開のものはほとんど無く、図書館送信限定が6割を占めています。

②国立国会図書館デジタルコレクション

アクセス方法

検索するだけならば、無料でどこからでもアクセスできる。<https://dl.ndl.go.jp/>

3つの公開レベル全てにチェックを入れて記事情報検索！

「図書館送信限定」と「国立国会図書館限定」の資料も、目次情報の検索は無料でどこからでもできる。



文献データベースとして使用するときは、3つのチェックボックス全てにチェックを入れるようにしましょう。

明治～昭和期の日本の雑誌・新聞記事の探し方

【動画教材では、国立国会図書館デジタルコレクションでの操作を実演しながら解説しています。】

国立国会図書館デジタルコレクションは、無料でどこからでもアクセスできます。

Googleなどで「国立国会図書館デジタルコレクション」と検索すると、見つかるかと思います。

<https://dl.ndl.go.jp/>

記事情報を検索するデータベースとして利用する際には、検索窓下の3つの公開レベル全てにチェックを入れるようにしましょう。

「図書館送信限定」と「国立国会図書館限定」の資料であっても、目次情報の検索は無料でどこからでもできるので、このように設定するのがおすすめです。

②国立国会図書館デジタルコレクション

31	半生の文章  大町桂月 著 (広文社, 1907) 目次・巻号 「インターネット公開」です。 目次: 夏目漱石論 
32	学生タイムス. 2(1)  国立国会図書館/図書館送信限定  雑誌 学生タイムス社, 1907-01 目次・巻号 目次: 将来の文章 / 夏目漱石 
33	滑稽文学. 1(1)  国立国会図書館/図書館送信限定  雑誌 滑稽文学社, 1907-01 目次・巻号 目次: 滑稽文学 / 夏目漱石 
34	教育研究. (35)  国立国会図書館限定  雑誌 初等教育研究会 編 (初等教育研究会, 1907-02) 目次・巻号 目次: 新刊批評 ◦ 吾輩は猫である / 夏目漱石 

3つの公開レベルはアイコンで一目で分かるようになっています。
以下のどちらのアイコンも付いていないものは、インターネット公開です。

- ・「国立国会図書館/図書館送信限定」
- ・「国立国会図書館限定」

明治～昭和期の日本の雑誌・新聞記事の探し方

【動画教材では、国立国会図書館デジタルコレクションでの操作を実演しながら解説しています。】

例えば、「夏目漱石」というキーワードで検索してみます。
そうすると、このように検索結果一覧が表示されます。雑誌の誌名・記事名、
図書の書名・目次などの書誌事項をまとめて検索してくれます。

3つの公開レベルは、アイコンで一目で分かるようになっています。
「図書館送信限定」は黄色のアイコン、「国立国会図書館内限定」は黒のアイコンです。
それ以外のものは「インターネット公開」のレベルです。

②国立国会図書館デジタルコレクション

AND検索 → 検索窓に「キーワード△キーワード」と入れるだけ

OR検索 → 詳細検索モードに切り替え後、検索窓に「キーワード△キーワード」と入れ、右側のプルダウンを「OR」に変更

※ △は半角スペース

国立国会図書館デジタルコレクションには同義語検索機能は無いので、漏れの無い検索をしたいときは、OR検索を活用する。

検索結果の表示範囲と資料の種類を選択する画面。キーワード検索欄には「夏目漱石 夏目金之助」が入力されており、検索モードは「OR」に設定されている。検索ボタンは「詳細検索」と「入力クリア」である。

公開範囲 インターネット公開 図書館送信資料 国立国会図書館内限定

資料群 図書 雑誌 古典籍資料(貴重書等) 博士論文 官報 憲政資料
 プラング文庫 録音・映像関係資料 歴史的音源 地図 特殊デジタル
 他機関デジタル化資料 電子書籍・電子雑誌

[全て選択](#) [全てクリア](#)

キーワード 全文検索 **OR** ▼

明治～昭和期の日本の雑誌・新聞記事の探し方

【動画教材では、国立国会図書館デジタルコレクションでの操作を実演しながら解説しています。】

AND検索は、二つのキーワードの間に半角スペースを入れるだけです。一方で、OR検索をしたい場合は、まず詳細検索モードに切り替える必要があります。

詳細検索画面で、二つのキーワードの間に半角スペースを入れたうえで、入力欄右側のプルダウンで「OR」を選択するとOR検索が可能です。ここでは、夏目漱石と本名の夏目金之助をOR検索してみます。こうすることで、夏目漱石名義のものと、夏目金之助名義のもの、どちらも同時に検索することができます。

国立国会図書館デジタルコレクションには、同義語検索機能は無いので、漏れの無い検索を行いたいときはOR検索を活用しましょう。

②国立国会図書館デジタルコレクション

資料種別を雑誌に限定して検索

詳細検索画面で、「雑誌」タブを選択

全て 図書 雑誌 書籍資料(貴重書等) 博士論文 官報 憲政資料 日本占領関係資料 プランゲ文庫 歴史的音源 科学映像 脚本

詳細検索 入力クリア

公開範囲 インターネット公開 図書館送信資料 国立国会図書館内限定

キーワード

タイトル /文芸春秋/ 雑誌名をタイトル欄に入力。完全一致にしたいときは、「/雑誌名/」とする。

目次 AND ▼

著者・编者 著者検索 AND ▼

出版地 AND ▼

出版者 AND ▼

出版年月日 範囲指定 日付指定

西暦 ▼ 年 月 日 ~ 西暦 ▼ 年 月 日

いずれも月、日は空でも構いません。範囲検索は文字列で比較します。

明治～昭和期の日本の雑誌・新聞記事の探し方

「著者・编者」は、記事の著者ではなく、雑誌自体の著者・编者を検索するので注意！

詳細検索モードでは、資料種別を「雑誌」だけに絞った検索もできます。雑誌名を指定した検索など、より詳細な検索が可能です。「著者・编者」の項目は、雑誌自体の著者・编者を検索するもので、記事の著者は検索されないので注意してください。

2つのデータベースの収録範囲の関係性

明治～昭和（戦前まで）の雑誌目次データ

ざっさくプラスには、国立国会図書館デジタルコレクションの目次データが収録されている。（ただし、一部収録漏れがある模様）

国立国会図書館デジタルコレクションの目次データが荒い場合、ざっさくプラス側で目次データを詳細にして採録し直しているものも多い。（＝ざっさくプラスのほうが検索性が高い。次スライド参照）

昭和（戦後から）の雑誌目次データ

ざっさくプラスには、国立国会図書館デジタルコレクションの目次データは基本的には収録されていない。

一方で、ざっさくプラスは多くの情報源から目次データを収録しているので、実際には2つのデータベースの収録範囲はある程度重なっていると思われる。

図書目次データ

ざっさくプラスには、国立国会図書館デジタルコレクションの目次データは収録されていない。

（そもそも、ざっさくプラスは雑誌記事情報のデータベースであり、基本的に図書目次は対象外）

明治～昭和期の日本の雑誌・新聞記事の探し方

ここまで紹介した2つのデータベースについて、雑誌記事情報の収録範囲の関係性を説明します。

雑誌の発行時期によって状況が違ってきます。

明治から昭和戦前期までは、ざっさくプラスに、国立国会図書館デジタルコレクションの目次データが収録されています。

ですので、基本的にはざっさくプラスが国立国会図書館デジタルコレクションを包含している、というイメージになります。

一方で、昭和戦後以降は、ざっさくプラスに、国立国会図書館デジタルコレクションの目次データは収録されていません。

そのため、2つのデータベースそれぞれを検索するほうが良いでしょう。

ただし、ざっさくプラスは他の多くの情報源から目次データを採録しているので、結果的には、2つのデータベース両方に収録されている情報は多いかと思えます。

2つのデータベースの収録範囲の関係性



例えば、同じ雑誌の同じ号で比較すると、ざっさくプラスのほうが詳細に目次情報がとられているケースがある。

- 【二色版】歌舞伎座「江戸お茶屋七」
無記名
1925年 映画と演芸 2-8
- 【映画】「悲しき戀の幻想」奈良祥義の多加藤、葉島清子の比那女、東榮子の清女
無記名
1925年 映画と演芸 2-8
- 【映画】「笛吹きマンロ」―「サイド・ショーオブ・ライフ」
無記名
1925年 映画と演芸 2-8
- 【映画】ジャックリン・ローガン
無記名
1925年 映画と演芸 2-8
- 【映画】ファスト・ナショナル映画ロスト・ワアルド―「疑陣の渦巻」
無記名
1925年 映画と演芸 2-8
- 【映画】フォックス映画アイアン・ネース、トム・ミックス
無記名
1925年 映画と演芸 2-8
- 【映画】メトロ・ゴールドウィン映画「拒否」―「暗黒」―「歌謡の平夜城」
無記名
1925年 映画と演芸 2-8
- 【映画】メトロ映画「人生の真摯者」プリンシパル映画「さびしき聲を聞け」
無記名
1925年 映画と演芸 2-8

明治～昭和期の日本の雑誌・新聞記事の探し方

国立国会図書館デジタルコレクションでは、残念ながら目次情報が「荒い」ことがあります。

国立国会図書館デジタルコレクションのデータをざっさくプラスに取り込む際に、より詳細に目次情報を取ってくれている場合があります。

こういった観点からも、2つのデータベースを両方検索してみることが有効です。

③Web-OYA bunko

有料のデータベース / 大阪大学では未契約

大阪府立中央図書館、大阪市立中央図書館、国立国会図書館関西館などに直接行けば、利用可能。（2021年6月現在の状況）

主な収録内容

週刊誌・女性誌・月刊総合誌など、大宅壮一文庫で所蔵している雑誌の記事を採録したものの。

- ・ 1988年以降の雑誌記事索引を約450万件
- ・ 『大宅壮一文庫雑誌記事索引総目録』に収録された1987年以前の索引データ約100万件（明治時代の記事3,600件、大正時代の記事1万件、昭和期は昭和63年までの記事100万件）

明治～昭和期の日本の雑誌・新聞記事の探し方

3つ目に紹介するデータベースが、Web-OYA bunkoです。大宅壮一文庫で所蔵している雑誌記事を検索できるようになっているデータベースです。週刊誌や女性誌など、ここまで紹介した2つのデータベースでは収録の少ないジャンルをカバーしています。

ただ残念ながら、大阪大学では現在このデータベースを契約していません。

③大宅壮一文庫雑誌記事索引総目録

冊子の書誌索引 / 総合図書館に所蔵あり

本編（明治～1984年、1985～1987年、1988～1995年）と追補（1888～1987年）あり。

★配架場所：総合図-書庫2階 書誌・索引 R027.5||OYA||（巻）

主な収録内容

週刊誌・女性誌・月刊総合誌など、大宅壮一文庫で所蔵している雑誌の記事を採録したものである。

本編と追補編を併せると、明治～1995年までの期間で、索引数は約225万件。

明治～昭和期の日本の雑誌・新聞記事の探し方

そこで代替資料として紹介するのが、紙の資料『大宅壮一文庫雑誌記事索引総目録』です。

総合図書館に一式所蔵しているので、明治期から1995年発行の雑誌記事を検索することができます。

データベースのほうはどちらかというと平成期以降の記事検索を主眼として作成されているので、明治～昭和期の雑誌記事情報については、この紙資料を使えば基本的には事足りるはずです。

③大宅壮一文庫雑誌記事索引総目録

2種類の索引を有効に活用する。

人名編

国内外著名人について、その人物に関する記事を索引したもの。
もちろん著者である記事も含むが、著者索引ではない。

件名編

雑誌記事を事項別、事件別に分類して索引したもの。
独自の大宅式分類法によって分類されている。

件名編の利用手順（推奨）

- 1) 「件名総索引」で、探したい項目の件名が何にあたるのかを確認する。
- 2) 1)で狙いを定めた件名を用いて、総目録本体の件名編で探す。

明治～昭和期の日本の雑誌・新聞記事の探し方

紙の資料『大宅壮一文庫雑誌記事索引総目録』の利用にあたっては、索引の号を有効に活用しましょう。

「人名編」と「件名編」の2種類があります。

「件名編」を使用する際には、まず「件名総索引」を活用して、自分が探したい内容がどういった件名で採られているのか確認してから使用するようにしましょう。

3つのデータベース等の簡単な比較

どれか1つにしか収録されていない情報も多い
広く情報を探したいときは、3つともチェックするのがおすすめ

ざっさくプラス	明治～昭和戦前の記事情報の多さ 独自データ多数で最大の収録記事数
国立国会図書館 デジタルコレクション	探索から画像確認までシームレス 他2つには無い、図書の目次情報が充実
大宅壮一文庫 雑誌記事索引総目録	大衆誌やサブカルチャー誌に強い 関連記事をまとめて探しやすい索引がある

明治～昭和期の日本の雑誌・新聞記事の探し方

ここまで紹介してきた3つのデータベース等の簡単なまとめです。

ざっさくプラスは、独自データ多数で最大の収録記事量を誇ります。
国立国会図書館デジタルコレクションは、図書の目次情報を検索できるという強みがあります。
大宅壮一文庫雑誌記事索引総目録は、大衆誌やサブカルチャー誌に強いです。

どれか1つにしか収録されていない情報も多いので、できるだけ広く情報を探したいときは、3つとも確認するようにしましょう。

紙の資料について：主な種類

総目次

雑誌の目次情報を集めて収録した資料。複数誌を集めて収録したものと、1誌のみを対象にしたものがある。

a) 複数誌を集めたもの

発行時期で限定、分野で限定、作成機関の所蔵資料に限定、等さまざまなケースがある。全体の索引の有無で利便性が大きく違う。存在を知らないと蔵書検索で見つけるのが難しい。

b) 1誌のみのもの

主に、図書等として改めて発行される場合と、該当誌内で節目に収録される場合がある。

前者→蔵書検索がしやすい

ex. 雑誌名と、目録 or 目次 or 総覧 or 索引 or 細目 など で検索

後者→存在を把握しづらいので、総目次の総覧などを活用

明治～昭和期の日本の雑誌・新聞記事の探し方

ここからは書誌索引や参考図書といった、紙の資料について紹介していきます。

紙の調査ツールには、いくつかジャンルがあります。

まず「総目次」と呼ばれるジャンルのものがあり、名前のとおり、雑誌の目次情報を集めて収録したものです。

複数の雑誌を対象にしたものと、1誌のみを対象にしたものがあります。

複数誌を集めたものは、発行時期で集めたものや、分野で集めたものなどさまざまです。

蔵書検索では見つけ出すことが難しいため、いくつかメジャーなものをあらかじめ知っておくと便利です。

複数誌を横断した索引が備わっていれば、指定した条件でまとめて検索できるようなものなので重宝します。

1誌のみを対象にした総目次は、図書等として改めて発行される場合と、その雑誌内で1年単位や100号単位などの節目に収録される場合があります。後者は存在を探し出すのが難しいため、「総目次の総覧」というジャンルの資料を活用して、まずは総目次の掲載箇所を探し出すことになります。

紙の資料について：主な種類

ある人物に関する文献目録

事典のように多くの人物を収録したものから、特定の人物のみに焦点をあてたものまでさまざま。後者を参照できれば豊富な情報を得られる。図書として刊行されるケースや、雑誌論文として発表されるケースなどがある。

採録対象については、著作に限っているもの、その人物を対象にした研究文献も含めているものなどさまざま。

★1つの文献目録に頼りすぎない

- ・文献目録刊行後に発表された文献がある可能性
- ・その文献目録には含まれていない文献がある可能性

代表的な紙の資料については、別途掲載している『参考資料：明治～昭和の雑誌記事を探すために有効な冊子資料について』をご参照ください。



明治～昭和期の日本の雑誌・新聞記事の探し方

ある人物に関する文献目録というジャンルもあります。ある人物を対象に研究を進めていく場合は、まずこういった文献目録の存在がないかきちんと探索すると調査が捗ります。

文献目録刊行後に発表された文献を調査する必要があること、また、文献目録が見逃している文献が存在する可能性があることには注意が必要です。文献目録をベースにしつつ、データベース等の他のツール類を使って、追加調査を行うと良いでしょう。

代表的な紙の資料については、別途掲載している『参考資料：明治～昭和の雑誌記事を探すために有効な冊子資料について』をご覧ください。ご自身の研究に利用できそうな資料については、ぜひ一度現物を手に取って確認してみてください。

紙の資料の活用のポイント

Point1：自分の探索内容や制約条件によって使い分ける

- ・ある特定の雑誌に的を絞った研究（＝雑誌が制約条件→総目次）
- ・ある人物の著作をできるだけ集めたい（＝人物が制約条件→人物文献目録）
- ・ある事件・事象を扱った記事を集めたい（→件名索引のある資料が便利）

Point2：索引を有効に活用する

索引があるかどうか必ず確認し、あれば正確に活用

Point3：収録内容や採録基準を把握する

凡例のページなどで、「何を探せていて、何を探せていないか」を明確に意識して活用

明治～昭和期の日本の雑誌・新聞記事の探し方

最後に、書誌索引や参考図書といった、紙の資料の活用のポイントを紹介し
ます。

1つ目のポイントとしては、自分の探索内容や制約条件によって使い分ける
ことです。
これが明確化すれば、自ずと利用すべき資料のジャンルが決まってきます。

2つ目のポイントとしては、索引を有効に活用することです。
索引の利用方法を確認した上で正確に活用すれば、調査効率がかなり向上し
ます。

3つ目のポイントとしては、収録内容や採録基準を把握した上で使うこと
です。
これはデータベース活用のポイントと同じで、自分が何を探せているのかを
理解した上で使う、ということです。
紙の調査ツールには、多くの場合「凡例」というページが冒頭に存在してい
て、そこに収録内容や採録基準の掲載があります。

冒頭で触れたように、明治から昭和期の日本の雑誌記事検索においては、
データベースに収録の無い情報もまだ多いです。

データベースに加えて、紙の資料も有効に活用していきましょう。